

桑名市議会議長
辻内 裕也 様

第4班 班長
佐藤 肇 印

議会報告会実施結果報告書

開催日時	令和3年 12月 3日 (金) 18時 30分 ~ 20時 00分			
開催場所	長島まちづくり拠点施設			
出席議員	班 長	佐藤 肇		
	司 会	愛敬 重之	記録者 水谷 真幸	
	水谷 憲治		太田 誠	伊藤恵一
参加人数	19 人			
議会報告の概要	<ul style="list-style-type: none">・開会挨拶・議員紹介・議会だより (2021年 (令和3年) 12月 1日号) の説明。(空き家対策、令和2年度の決算、経常収支比率、桑名駅の今後、消火栓整備、多度小中一貫校整備の進捗、議会から出された新型コロナウイルス感染症に関する緊急要望提出について)・議会だより、新型コロナウイルス感染症対応について、またそれ以外の内容について質疑応答			
主な意見・要望	意見交換については別紙参照			
備 考				

議会報告会記録

【第 班】

開催日時	令和3年 12月 3日 (金) 18時 30分 ~ 20時 00分	
開催場所	長島まちづくり拠点施設	
参加人数	19 人	
議会報告に対する質疑応答	○：発言者	⇒：回答者
	【議会だよりについて】	
	○桑名市にどのくらいの空き家があるのか。そのうち危険空き家はどのくらいあるのか。	
	⇒2225 軒の空き家があります。そのうち危険と認識しているのは、55 軒（令和2年調査管理不全空き家数）あります。	
	【コロナウイルス感染症対策について】	
○コロナワクチンの1回目の接種の時に、かかりつけ医で接種してくださいということでしたが、かかりつけ以外でも打てたようでした。私の場合は総合医療センターに何度電話してもつながらなかったし、窓口に行っても対応してくれなかった。今後、3回目の接種ということだが、どのような対応になるのか。		
⇒3回目の接種については、12月から医療関係者を中心に、65歳以上の方については、前回接種から8ヶ月経過してからの接種になるかと思えます。前回までの接種については、インターネットやコールセンターに電話していただいて、対応させていただきました。3回目どのように接種を進めていくかについては、桑名医師会と協議中です。予約の際になかなか電話がつながらなかったなどのお声はお聞きしておりますが、今回は8ヶ月経過された方から順番に接種ということになりますので、ご理解いただければと思います。		
○今回のコロナ禍によって、小中学校が休校して、オンライン授業なされたと思いますが、思ったより早くタブレットなどの端末も配備されたし、一生懸命やってくれたと聞いています。学校によっては通信環境が不十分で、タブレットが機能していないところもあったと聞いています。今後、また休校となった場合、どのように対応するのか。		
⇒急遽8月27日くらいに三重県にも緊急事態宣言が出たということで、桑名にも多くの感染者が発生した。その中で、子		

どもたちの授業をどうするかということで、9月1、2日については分散登校、3日から10日にかけてオンライン授業というを行いました。GIGAスクール構想ということで一人一台タブレット端末を配備していただきましたので、それを持ち帰っていただいて、学校とオンライン授業を家庭でしていただいた。家にインターネットの環境のない方については、学校に登校していただいた。低学年の子供にとっては操作が難しいということで、登校していただいた方もいたと聞いています。通信の容量などについても問題があったと聞いています。子供が学習内容を理解したかどうか分かりづらいということも聞いています。今回のオンライン授業を検証して、また検討していくと思います。

○桑名市モデルということで接種が進められましたが、企業接種について調べてみますと、全15930回のうち、7835回という約半分弱が桑名市外在住者に使われました。結果、この分のワクチンが足りなくなって、予約が取りにくい状況が生まれました。10月13日のテレビのニュースにおいても、名古屋はワクチンが余っているのに、いまだに桑名市はワクチンが足りないと報道されていました。9月のワクチン接種回数、一般市民を対象とした集団接種予約枠数1175回に比べて、この期間に行われた企業接種、2478回と桑名市民を差し置いて市外在住者を優先した桑名市モデルということで議員の方はいかがお考えか聞きたいと思います。

⇒市の幹部とお話しすると鈴鹿市でワクチンを借りたり、余っているところからワクチンを借りるということはあったというふうに聞いています。

○お互いの自治体間のワクチンの貸し借りも考慮しても、桑名市が圧倒的にワクチンを貸している状況であると数字にあらわれています。その原因は全て企業接種。当局に聞いたところ、桑名市のクラスター発生防止に役立ったと聞いていますが、それならば、桑名市民が他のところでクラスターをつくってもよかったということもありますので、どのようにお考えかを聞いております。

⇒市の方にもこのような意見があったということをお話することもあるのかなと思っています。

○コロナウイルス感染症のワクチン接種について、ホームページから申し込みをしたが、何度も同じ情報を入力しては、予定枠に達しましたということで非常に使いにくいシステムだったので、今後、予約を取らないといけなくなった場合にシステムは改善されるのでしょうか。よりスムーズにワクチンが行きわたる方法がないのでしょうか。結局、私は桑名市では接種できず勤務する会社の職域接種で摂取しました。

⇒予約の取り方などについては協議されていくと思いますので、いただいたご意見は当局に報告させていただきたいと思っています。

○今年、桑名市で1420人くらいのコロナウイルス感染者が生じたと思いますが、8月11日ごろから急速に感染拡大が進み、8月25日に63名とピークを迎え、それ以降は滑らかに減少し、9月20日前後にはほぼゼロになりました。8月11日から25日までの2週間の間に、全体の32.3%の感染者が集中しました。この経験を次の機会に生かしてもらいたいと思っています。この期間、どのように行政、議会は対応したか検証し、今後速やかな対処をお願いしたいです。

⇒コロナウイルス感染症のワクチン接種の状況についてですが、84.4%の方の接種が完了しています。その中で10代の方の接種率について、1回目は72.3%、2回目は70.5%となっており、たくさんの方に接種していただいています。いろいろな課題を検証して、今後に生かしていきたいですし、また当局のほうにも伝えていきたいと思っています。貴重なご意見ありがとうございました。

○コロナウイルス感染症の保健所の対応について大変であると思ってみておりましたが、桑名地区の保健所の様子をどのように把握しているか、今後桑名市として保健所の対応についてうかがいたいです。

⇒桑名市の職員も最高で7名を保健所に派遣して、コロナ対応にあたってもらいました。保健所だけでは対応できないということで、市のほうも協力して、国・県・市が協力していかなければならないと考えています。

【その他の内容について】

○女性の農業委員がいなくなりましたが、男女共同参画という観点からいうとどのような経緯でゼロになってしまったのでしょうか。女性の農業者団体の中には、要望書を農業委員会がない地域には県のほうから送っているのですが、そういうところにも女性の参画が必要だと思うのですが、どうでしょうか。

⇒当局の方に伝えたいと思います。男女平等とか男女共同参画とかあるのですが、それは初耳でした。

○海拔ゼロメートル地帯において頼りになるのは排水機です。国土交通省の排水機は標高の高いところにありますが、市の排水機は低いところにある。もし浸水があれば、排水機の機能が不足するのではないかと不安に思っています。ハザードマップで内水氾濫について取り上げてもらいたいです。以前は桑名市防災計画が印刷されて読める状態にあったが、現在はホームページに掲載されているということでおかれています。防災計画は500ページにも及ぶので、ホームページ上で読むのは難しいので、図書館など市民が読める場所に設置してほしいです。

⇒長島町においては、大島に国土交通省の排水機場がある。この排水機場は、運転基準水位というのが決まっている。条件としてその地域の市のポンプ場が運転されているという中で、基準以上の雨が降った時に国土交通省の排水機も運転するという事になっている。最近、日本全国で時間雨量 100 mmを超えるような雨も降っております。そういったときに、市の排水機場のポンプが停止しても、国土交通省のポンプは動く。堤防の上から水をポンプアップする仕組みになっております。内水氾濫については絶対ないとはいえません。そういった中、国土交通省の排水機場のポンプは水位が高くなっても排水できるようになっております。防災マップの中に内水氾濫について記載をということですが、所管のところにお伝えしたいと思います。

○出口地区で数年ぶりに自治会でまる一日かけた防災イベント、防災講演、昼には防災食を実食するイベントを、講演においては、危機管理課から防災専門官の講演、午後からは東名阪法面に桑名市と NEXCO 中日本が共同で南北 12 か所に一時避難所を設置したのですが、自治会として初めて訓練しようじゃないかということで、三か所の避難所を使って、避難訓練を行いました。講演の中で自分の命を守る、自分の家族、大切な人の命を守るためにまずは避難ということを知ることが、長島地区ではどこに逃げたらいいかわからないという人がたくさんいます。防災訓練、防災啓発を行っていますが、どこに逃げるのとなったときに明確にどこへというのがないのですよね。長島地区は堤防に囲まれています、自分たちが避難するリアル感がない。そこで桑名市は4市町協定を結んでいます。いなべ市、東員町、木曾岬町、桑名市、せっかくこの協定があるので、議会でもあげていただいて、地域ごとに東員町、いなべ市あたりに、地区ごとに避難場所を明確化してもらえると住民は意識を自然と持つと思います。木曾岬町は東員町、いなべ市と協定を結んでいて、訓練を1年か2年に1回か行っています。訓練が防災意識を高めると思っている、議会でもとりあげてほしいです。

⇒木曾川下流域の関係ですと、片田教授という方がいらっしゃって、やはり広域避難、分散避難が重要になってくると。その中でどこに広域避難するのか明示してほしいという意見いただいております。避難場所を明確にしてほしいという貴重なご意見を市のほうにも伝えていきたいと思っております。

○避難場所でイオンモール桑名の駐車場が協定を結んでいるということは日ごろ防災啓発でも伝えておりますけれども、よく聞いてみますと、施設中の3か所しか協定を結んでいないということで、その3か所がどこか、また開いている時間を明示することをお願いしたい。そして、その情報をアプリではなくて、紙でわかるようにしてほしいです。

○今日の中日新聞に市長が、長島地区を含めて2万人の避難所が決まっていないということを書いています。

○長島町内、一部の排水機場では今の時間雨量に対応できないと聞いたことがあるのですが、聞き間違いだったのか教えてほしいです。

今の排水機場の能力で昨今の降水量に対応できないのであれば、排水能力改善の計画はあるのでしょうか。伊曾島小学校が避難所になっていたが、それを外すと聞いたことがあるが、それも本当なのか確認したいです。長島北部、伊曾島小学校も中部小学校に統合されるというのも動き出しているのかどうか確認したいです。

⇒排水機の能力については、市のほうで長寿命化、適正化ということで事業を進めているところです。例えば福豊の排水機場のエンジンについても県の湛水防除事業で整備を進めていくということです。大島排水機場も新しく作り変えるという計画も10年以上かかってやっておりますけど、また松蔭の方でも調査していただいているところです。その時の地震など災害の種類によってですけれども、広域避難とか分散避難などケースバイケースでの避難ということになるかと思えます。多度については小中一貫校の事業が進んでいます。将来的にはあるかもしれませんが、今のところ長島については小中一貫校の計画はございません。ただし、児童、生徒数の減少による複式学級が行われてくると対応しなければならないと思えます。

○伊曾島地区の津波避難デッキについて、建設計画の住民説明会のときに、津波避難デッキができると、避難先が津波避難デッキ以外の場合は広域避難をする際に伊曾島小学校にたとえ避難しても桑名市はバスで移動させてくれないと聞いております。そうすると、災害があったときは津波避難デッキが避難場所となります。津波避難デッキは津波には多少効果があるかもしれませんが、台風では雨や風の中避難デッキに避難しろというのかというのがあります。東日本大震災後の仙台港では15mの津波が来ましたが、それにもなって地中に2mしか埋め込まれていない街路灯も持ちこたえています。ただし、折れてしまっています。同じようなことが津波避難デッキで起こったら、避難した人は津波に巻き込まれてしまいます。そもそも地中に5m打ち込んであります伊曾島小学校に避難すれば、津波避難デッキをつくる必要はないと思えます。将来、多度のように中部小学校に長島北部小学校、伊曾島小学校を統合してしまった際の代替施設として津波避難デッキを建設しているのではないのでしょうか。多度小中一貫校の計画についてですが、多度中小学校の土地4haの取得のために5億円のお金が使われています。小中一貫校を作らなければ必要ない予算です。総事業費100億円といわれる無駄事業は必要ないと思えます。多度小中一貫校はモデル校と発表されていますので、多度小中一貫校の建設が終われば、桑名の他の地域に小中一貫校を設けると市長は明言しています。長島中部小学校に児童数の少ない北部小学校、伊曾島小学校が統廃合されれば、それぞれの地域の避難場所がなくなってしまいます。簡単に行政の都合で学校の統廃合発してもらっては困ります。加えて、長島北部地区と伊曾島地区はまちづくり協議会を設置しています。もし長島小中一貫校で統合してしまった場合、長島北部地区と伊曾島地区も同じように長島中部地区に統合されてしまうのではないかという不安もあります。その場合、まちづくり協議会が統合されて合理的に思われるかもしれませんが、結果として長島地区に予算が配分されにくくなってしまいます。そうすると、予算不足、地域崩壊をまねいてしまうということで、現時点で多度の小中一貫校の事業を止めないと、長島町が危ないというふうに思っています。これら無駄事業をなくしてほしいと思えます。このような状況がある中で本当に市民を守れるのか、議員の皆さんには心に刻んでもらいたいと思えます。

⇒貴重なご意見ありがとうございました。こういう意見があったことを、いただいた資料も用いて市の幹部と論議したい
と思います。